

7. 暮らしの安全

7-4

火事が心配だ

火事で亡くなる方の6割以上の方が、65歳以上の高齢者です。
火事に備えて、日頃から次のことに注意してください。

- 寝タバコはやめましょう。
- コンロを使用している時は、絶対にその場を離れないでください。
- 電気器具のタコ足配線はやめましょう。また、電気プラグにほこりがたまると出火することがあります。時々、掃除をしてください。
- 石油ストーブに給油する時は、必ず火を消してください。

万が一、火事になったら、すぐに避難をしてください。
大声で「火事だ」と近所の人に知らせましょう。
そして、余裕があれば、119番通報をしてください。

決して家の中に戻ってはいけません。

全ての住宅の寝室や台所などに火事を知らせる住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

ひとり暮らしの高齢者の方

ガスコンロの代わりに使う電磁調理器や住宅用火災警報器の購入に補助が受けられる場合がありますので、P34「ひとり暮らし高齢者へのサービスは？」も参考にしてください。

住宅用火災警報器の取り付けには、シルバー人材センターの生活援助軽サービスが利用できる場合がありますのでP46「簡単な作業を代りにやってほしい」をご覧ください。

お問合せ先

西消防署 予防課

TEL.(052)521-0119

FAX.(052)532-0119